

おおやクリエイターズ・レジデンス事業

概要

全市域が過疎指定を受けている養父市は、少子高齢化と加速的な人口減少が持続的な集落活動の継続をも危ぶむ状況を生み出している。

一方で、この閉塞した状況を打開していく施策として、アートを中心に据えた創造的地域再生に取り組んでいる。本事業の活用により芸術と文化、地域住民とクリエイターの融合によって、人が人を呼ぶ連鎖の仕組みを構築することを目指す。

兵庫県養父市



【活用する遊休施設】



【創作活動の様子】

事業の内容

事業の内容

遊休化している市有施設を活用することで、低コストで居住スペースの設置を行い、一定期間居住する空間を提供する。このことにより、今後の定住施策立案と低下する集落の活力を呼び戻す課題対応への足掛かりとする。

総事業費 10.1百万円

ポイント 地元市民団体との協働

○農村部への移住の課題は、地域に溶け込めることができるかという点がある。これらの課題を解決するために、地域市民団体の協働で、移住者との接点を密にする。

事業の成果

クリエイティブ関連の事業は、地理的な要因にとらわれることなく事業展開が可能である。既に他地域において事例は多くある。転入者が地域に地域住民が気付かない宝の発見、四季を感じることができる環境が好きといったような+αを見つけ、将来の集落像を描くことが可能となっている。これらの取組を、交流をする地域住民がその情報を共有し、さらに市内の各集落に波及させ市域全体の活性化につなげたい。